

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
基礎分野	人間工学	1	30	1年次	4月	西島衛治
授業概要 看護の役割である人間の生活過程を整えるために、人間の生活行動や看護活動を物理学的視点で理解する。そして人間の生活や環境の中での安全性、快適性を学ぶとともに、効率的な看護について学ぶことをねらいとする。						
到達目標 1.人間の動作や人間が利用している用具の特徴を物理学的視点で理解できる。 2.病床環境の快適性（安全・安楽）の追求、看護職の作業環境や安全性について理解できる。						
使用教材 テキスト 小川絢一：イラストで学ぶ看護人間工学（東京電機大学出版局） 参考文献等						
評価 筆記試験 授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
6時間・3回	1.人間工学ってなに 1)人間工学のあらまし 2)人間工学の応用は幅広い 3)人間とモノ、人間と人間の間隔を考える 4)人とモノとのかかわり 5)人間と機械とのかかわり 6)人と人とのかかわり 7)看護業務と人間工学 8)看護人間工学とは 9)患者の移動・移動と看護人間工学					講義
8時間・4回	2.人間のすばらしさと物・人とのかかわり 1)五感のすばらしさを考える 2)手と足の役割を考える 3)看護で発揮できる力について 4)姿勢を考える 5)作業姿勢を考える 6)人と人とのかかわり力作業と腰部負担について 7)人間の能力拡大と人間工学について 8)人間と物との関係を考える 9)人が物を操る能力を考える 10)人が人を操るしごと（看護・介助）					講義
4時間・2回	3.ボディメカニクスを理解するための力学① 1)看護とベクトルの話し 2)テコの原理 3)看護におけるテコの原理応用 4)力のモーメントとトルクの違い 5)力のモーメントの応用ードアの開閉の能力と力のバランスについて 6)力のモーメントの計算で作業負担がわかる 7)人の重心はどのように求めるのか 8)底面重心はいかにして求めるか					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
基礎分野	人間工学	1	30	1年次	4月	西島衛治
時間・回数	授業内容					方法
4時間・2回	4.ボディメカニクスを理解するための力学② 1)支持基底面とは 2)支持基底面を広げるいくつかの方法について 3)転倒しにくさと支持基底面と重心の関係について 4)倒れやすさと支持基底面と重心					講義
2時間・1回	5.ボディメカニクスを理解するための力学③ 1)睡眠と人間工学 2)健康と人間工学 3)コンピューター作業とテクノストレスについて					講義
4時間・2回	6.ボディメカニクスを理解するための力学④ 1)看護師－物－患者に応用されている看護人間工学 2)用具を用いた看護作業の負担軽減について 3)器機を用いた看護作業の負担軽減について 4)看護技術と人間工学					講義
1時間・1回	看護人間工学のまとめ（45分間）					講義
1時間・1回	筆記試験（45分間）					
備考 輸液ポンプの取り扱いに関しては、臨床看護総論の中で学ぶ内容とする。						